

広報広聴事業

岩見沢市議会議員と市民との意見交換会

実施報告書



—目次—

1. はじめに
2. 開催概要
3. 報告内容（当日配布資料）
4. 参加者からのご質問等
5. アンケート集計結果
6. 最後に

1. はじめに

令和5年度「岩見沢市議会議員と市民との意見交換会」を市内4会場にて開催をさせていただきます。

これまで開催に当たり、多くの皆様に参加いただけるよう様々に趣向を考えてまいりました。10回目となる、今回は新型コロナウイルスの影響で見送っていた、地域へ出向いての意見交換を再開いたしました。幌向地域、栗沢地域、北村地域で開催をし、地域の課題について、直接ご意見を伺うことができ、大変有意義なものとなりました。

また、地域会場終了後、生涯学習センターいわなびにて、新病院建設をテーマに意見交換会を行いました。このメイン会場では、新たにワールドカフェ（グループワーク）形式で、ご来場いただいた皆様が新病院に対して、自由闊達に発言できる意見交換会を目指し、おかげをもちまして皆様の貴重なご意見を拝聴することができました。いただいたご意見は、今後の新病院建設に向け参考にさせていただききたいと存じます。

さらに、メイン会場においては Web 会議システムを活用して、会場に来場ができない方もオンラインで参加できるよう、試行的に実施をしました。課題もありますが、多くの皆様と意見交換ができるよう、引き続き邁進してまいります。

各会場でいただいたご意見を参考にさせていただき、市民の代表として議会活動を通して負託に応えて行きたいと考えております。第21期の新たな議会の中で広報広聴のさらなる充実に向けた取組を進めてまいります。

今後とも多くの市民の皆様からのご意見を頂けることを切に願います。

岩見沢市議会広報広聴委員会

委員長 宮下 透

副委員長 大和 勝

委員 新井優也

枝廣晴基

坂井秋子

野尻 清

猪口満雅

山田靖廣

松本一郎

2. 開催概要

【実施日】

令和5年11月20日（月）

【開催場所・時間】

地域会場 17時より（3会場同時開催）

- ① 幌向総合コミュニティセンターほっとかん
- ② 栗沢支所
- ③ 北村支所

メイン会場 19時より

- ④ 生涯学習センターいわなび

【事業内容】

例年開催している市民との意見交換会について、5年ぶりに地域に出向いて開催させていただきました。

実施内容としては、地域会場では地域の課題について意見交換を行い、メイン会場では新病院建設をテーマに、グループワーク形式で多様な意見をいただきました。

【班編成】

会場	構成メンバー			
①幌向会場	木村光宏	斉須正友	松本一郎	山田靖廣
②栗沢会場	河合清秀	枝廣晴基	坂井照美	平野義文
③北村会場	石黒武美	坂井秋子	武田貞行	日向清一
④いわなび会場	全議員22名			

【来場者数】

会 場	人 数	合 計
①幌向会場	12名	92名
②栗沢会場	27名	
③北村会場	23名	
④いわなび会場	30名	

【アンケート回答者数】

83名（回収率88.0%）

【動画配信】

メイン会場の様子は市議会YouTubeページに公開しています。ぜひご覧ください。



3. 報告内容（当日配布資料）

地域会場
②栗沢支所

岩見沢市議会議員と 市民との意見交換会

小中一貫教育制度について

▶ 制度

小中連携教育

教職員が情報交換や交流を行い、小中への円滑な接続を実施

小中一貫教育

教職員が9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を実施

義務教育学校

小中が1つの学校として、
1人の校長、1つの教職員のもと9年間の目標を設定した教育課程を編成・実施

小中一貫型 小学校・中学校

組織上独立した小中が9年間の目標を設定し、教育課程を編成・実施

▶ メリット

中1ギャップの解消

柔軟な学年の区切りが可能

小中交流促進

イベントや学習への相互参加

小中組織の一体化

PTAや学校運営協議会の合同開催など



▶ 小中の違い



小学校

中学校

指導体制

学級担任制

教科担任制

家庭学習

宿題の教科間の調整がしやすい

宿題の教科間の調整がしにくい
部活動との両立が発生

試験など

定期試験なし

定期試験を実施
計画的な学習が必要

部活動など

少年団など個々で加入

学校部活動として実施
先輩・後輩の上下関係が構築

▶ 要件



	義務教育学校	小中一貫型 小学校・中学校
修業年限	9年（前期・後期課程あり）	小学校6年、中学校3年
組織運営	義務教育学校1校に、 校長：1人 教職員組織：1	小・中学校それぞれに、 校長：1人 教職員組織：1
免許	原則、小学校・中学校の 免許を併有	所属する学校種の免許を保有
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9年間の教育目標の設定 ・ 9年間の系統性、体系性に配慮した教育課程 	
施設形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一体型や分離型など施設形態は問わない 	

岩見沢市議会議員と
市民との意見交換会

> 詳しい情報はホームページへ
令和5年11月20日 栗沢支所



地域会場
②北村支所

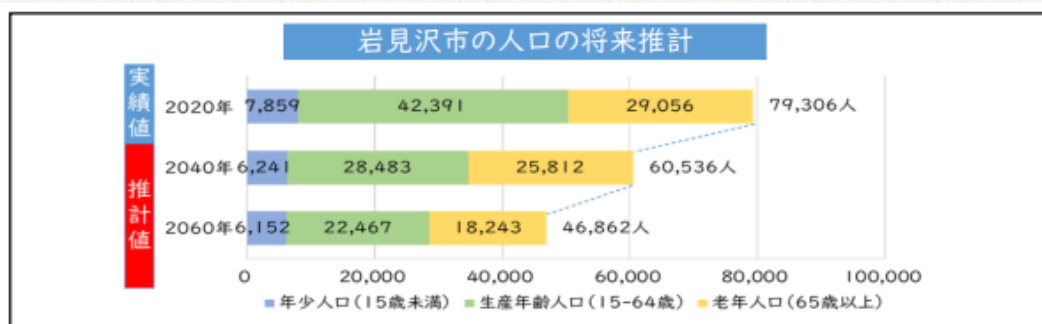
岩見沢市議会議員と 市民との意見交換会

公共施設の適正配置について

▶ 公共施設再編の背景について

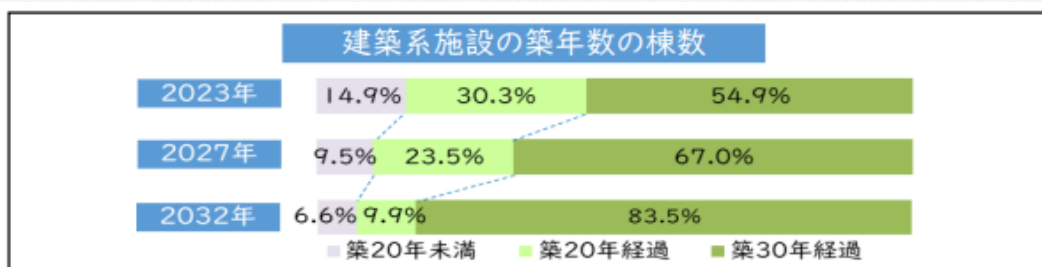
人口減少

- ・ 2100年の日本の総人口は約6,400万人と推計
- ・ 岩見沢市の人口は、**2040年に約6万人**
2060年に約4万7千人と推計



公共施設の の 老朽化

- ・ 過去に整備された施設が一斉に老朽化
2032年には8割の施設が築30年以上に
- ・ 建物だけではなく、道路・橋梁・上下水道なども老朽化が進行
厳しい財政状況の中、「すべての施設を維持し続けること」は困難



市では、平成28年に「公共施設等総合管理計画」を策定し、30年間で施設の総床面積を30%削減する目標を掲げています。

▶ 地域の集会施設について

岩見沢地区	5施設
北村地区	7施設
栗沢地区	11施設
地域の集会施設 (合計)	23施設

◎配置の基本的な考え方

- ・ 平成30年度策定の「公共施設再編基本計画」で、地域の集会施設は「**今後、地元と協議しながら具体的な再編を進める必要がある**」としています。
- ・ 引き続き、地元の皆様と協議しながら、地域の集会施設の再編を進めていくこととしています。

北村地区の公共交通



市の公共交通網の将来像・各種施策経過

一定の生活機能の集積がみられる駅周辺などの日常生活拠点を接続点として、地域に適した交通モードを組み合わせ、地域と地域を結び、市内全域を広く面的にカバーする公共交通ネットワークの充実を図ることを基本的な考え方としています。

時期	市内の公共交通の動き	北村地区における交通施策の動き
H28	デマンド型乗合タクシー実証実験 (大願町・峰延町)	デマンド型乗合タクシー実証実験 (北村中小屋・北村大願)
H29	中央バス路線再編	北村線の廃止 月形線のルート変更
H30	デマンド型乗合タクシー運行開始 ■岩見沢北地区 [西川町・稔町・大願町・峰延町]	
R1	デマンド型乗合タクシー対象地区拡大 ■岩見沢西地区 [幌向・上幌向周辺の農村地域] ■栗沢地区[西側の農村地域]	
R2	デマンド型乗合タクシー対象地区拡大 ■栗沢地区[上幌・茂世丑・宮村]	
R4	東部丘陵線コミュニティバス運行開始 (中央バス万字線・市営万字線の廃止)	EV自動運転バス実証実験
R5		EV自動運転バス実証実験

市営バス（北村地区）の令和4年度利用状況

路線	便名	1便あたり乗車人数	路線	便名	1便あたり乗車人数
豊正線	5.6.7便	0.15	砂浜線	3便	1.25
	3便	0.23		5.6.7便	0.64
幌達布線	5.6.7便	0.05	東豊線	10便	0.47
	10便	0.00		3便	0.87
東線	5.6.7便	0.56	10便	0.49	
中央線	5.6.7便	0.33	計		0.41

**岩見沢市議会議員と
市民との意見交換会**

> 詳しい情報はホームページへ
令和5年11月20日 北村支所



地域会場

④生涯学習センターいわなび

岩見沢市議会議員と 市民との意見交換会

岩見沢市新病院建設基本計画

▶ 新病院に向けた基本的な考え方・目指す姿

基本コンセプト

質の高い急性期医療の提供を維持・強化するとともに、南空知医療圏域住民の生活的価値（QOL）の向上を実現する病院

- ◆ 患者にとってわかりやすく信頼される病院
- ◆ 急性期医療や救急医療を中心とする総合的な診療体制を担う病院
- ◆ 安全・安心で快適な療養環境を提供する病院
- ◆ スタッフが誇りと働きがいを持てる魅力ある病院
- ◆ 健全で効率的な経営による持続可能な病院

▶ 新病院の重点医療機能（病院像）

急性期医療の充実

救急医療の充実

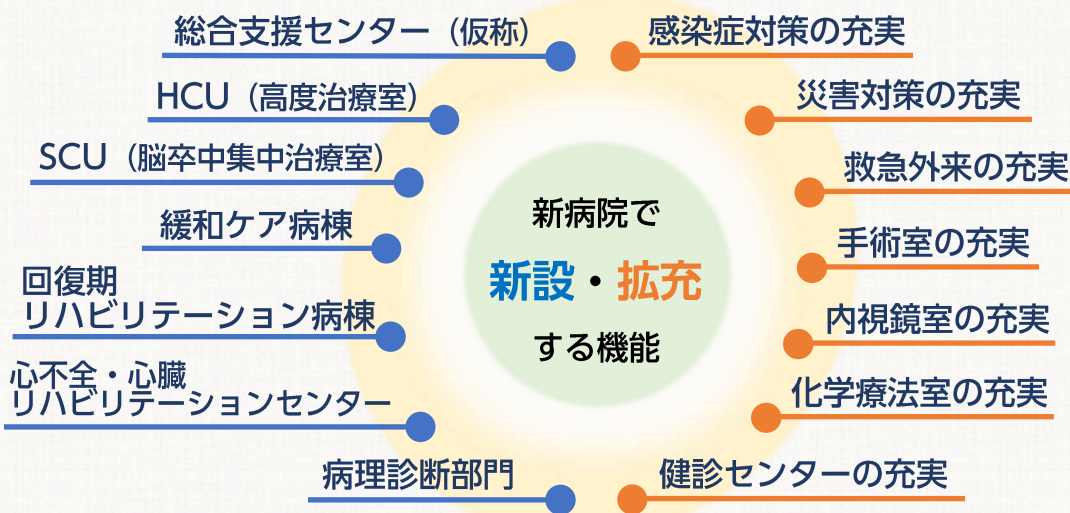
回復期医療の充実

災害・感染症医療の充実

専門医療の充実

地域医療連携の推進

▶ 新病院の診療機能・施設規模



標榜診療科 28 科

一般病床
388床

精神病床
70床

感染症病床
4床

合計
462床

▶ 施設整備方針

患者や家族など全ての利用者にやさしい施設

- ▶ ユニバーサルデザイン、効率的な動線、プライバシーやセキュリティへの配慮、利便施設の充実

災害や感染症に強い安全・安心な施設

- ▶ 大規模災害や感染症のパンデミック発生時にも医療機能を継続できる建物配置・構造・設備

職員が能力を発揮できる働きやすい施設

- ▶ ICT/IoT・AI・RPAの導入、教育・研修機能、院内保育、アメニティ機能の充実

将来の変化に対応し地域医療を守る施設

- ▶ 柔軟性や拡張性に配慮した建物構造、全面建替スペースを確保できる配置

経済性と環境に配慮した施設

- ▶ 施設整備費やライフサイクルコストの縮減、自然エネルギーの活用、省エネルギー化

▶ 概算事業費

(1)設計・監理費 14.6億円	(2)建築工事費 242.8億円	(3)外構工事費 5.2億円	(4)解体経費 11.9億円	(5)医療機器 45.0億円
(6)什器備品 5.0億円	(7)情報システム 14.2億円	(8)事務費など 3.3億円	(9)移転費など 2.0億円	全体事業費 344.0億円

▶ 整備手法とスケジュール

- ▶ 施工者を早期に確保するため、実施設計段階から施工者が技術協力で参画するECI方式を採用
- ▶ ECI方式を前提に、令和10年春の開院を目指す



▶ 建設地・駐車場計画

- ▶ 災害発生時や救急搬送におけるアクセスの確保において、国道に面した立地の優位性が高いことから、「北海道中央労災病院用地」に決定
- ▶ 交通アクセスの更なる向上に向けて関係機関と協議・検討



- ▶ 患者・来院者用や職員用など、1,000台程度の駐車場を整備



詳しい情報は
ホームページへ



岩見沢市議会議員と
市民との意見交換会

▶ 本資料は、岩見沢市新病院建設基本計画【概要版】を抜粋したものです。

令和5年11月20日 生涯学習センターいわなび

4. 参加者からのご質問等

ご質問や回答は紙面の都合上、一部抜粋しており、
回答については一部加筆・訂正させていただいております。

地域会場 ①幌向総合コミュニティセンター

Q1) 地区協として歩道橋の雨漏りだとか問題の箇所について、市役所経由で改善をお願いしているが、大規模改修も含め開発局との兼ね合いもあり、実現はしていない。冬期間、雨漏りの影響で歩道橋が凍結するところもあり危険。地域の皆さんが毎日使うものだから、使いやすいように維持していきたいが市議会としてはどう考えるか。

A1) 令和5年第2回定例会で2名の議員が、この件について一般質問をしました。大規模改修については、市と開発局が協力してという回答でした。引き続き市議会も、地域の問題として一般質問も含め、この問題に取り組みたいと思っております。

Q2) 特に開発局側の歩道橋が結構雨漏りがひどく、バケツをおいてもすぐに一杯になってしまう。また、壁や天井が取り払われている部分があって、非常に見栄えが悪くなっている。早く改修をしていただきたい。

A2) 天井の合作や、JRの下の天板が落ちそうな状況も以前にはありました。そういうところも確認させていただき、早急に対処するよう市議会としても一生懸命努力して、行政に問うていきたいと思っております。

Q3) バケツの水がすぐ溢れて、通路が凍結してしまい、いずれかと言っている暇がないくらい危険な状態。早急にということだったが、具体的に聞かせていただきたい。

A3) 開発局の部分は市から開発局へ伝えてもらう必要があるため、不便な点や危険性を市議会から市へ早急にしっかりと伝えたいと思います。

Q4) 大規模改修の計画は上がってきているものか。

A4) 令和5年第2回定例会の一般質問では、開発局の大規模改修に合わせて、市も一緒にやっていきたいという回答をいただきました。問題点を担当部署にお伝えをして改善していただきたいと思っております。

Q5) 先ほどまでの回答を聞いていて、それは開発局がやるから、議会がやれる部分は少ないんですよというふうに聞こえた。ただ、議会で大規模改修のスケジュールを確認することや、市がどのような形で開発局へ要望しているのか確認をすべきではないかと思う。

A5) 貴重なご意見をありがとうございます。管理が異なるということで、色々と難しい面があることは覚悟をしております。安全性を含め、ユニバーサルデザインなど基準の変更も糸口となるかもしれないと考えています。地域の皆様から色々な情報や状況を教えていただき、色々なところに掛け合って、希望を叶えていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

今、目の前の危険なことが皆様の心配、懸念事項だということがよく理解できましたので、その点についても各部署が現在どうなっているのかということで今まで以上に問うていきたいと思えます。

Q6) 幌向は札幌へ一番近いということで重要な位置づけであろうと考えているが、幌向について特色ある取組の考えはないか。各議員に伺いたい。

A6) 高齢化の中で交通関係を一番心配しています。バス乗車料金の値上がりや、減便、病院に通うのも大変な状況です。さらに、新市立病院の問題もあります。さらに遠くなってしまふ。そういう点で、幌向の交通を中心に考えていかなければと思っているところです。移住されてきた方が多いのが幌向の特徴です。札幌の西の玄関口として、少子高齢化の中にあっても可能性はあると思っています。中でも、空き家をリフォームして子育て世代をサポートするような取組をしていくことが大事ではないかと思っています。また地域の交通も非常に重要な課題だと思いますので頑張っていきたいと思えます。

若者が進学を機に岩見沢から出て、なかなか岩見沢で就職となっていない状況であります。ですから人口減少のスピードをある程度抑えることができるような仕組みが必要だと思えます。奨学金を今までは本人が返還していましたが、2年ほど前から企業が代理返還することが可能になりました。こういった支援をはじめ、きちっとした雇用を創出して、地元に住み、結婚して子供を育て、そして社会で活躍していただく。そういう仕組みも非常に大事なのではないかと考えております。

Q7) 市内全体的にという考えでは、なかなか難しい面もある。幌向の人口とか購買力を考えると、幌向独自の施策などである程度人口を増やすことによって、市にも住民税など色々な部分で良い面があると思うが、そういう手段を考えていくことはどうか。

A7) 札幌に一番近いということ踏まえると、やはり歩道橋、JR駅、これは要になるものだと認識しており、こういったものを戦略的に使って、色々な発展のさせ方はあると思いますので、皆様から有効なご意見を伺いながら取り組みたいと思っております。

要望1) 歩道橋は雨漏りして凍っていてケガした場合、管理責任を問われる。市は積極的に開発局に伝えてもらわないといけないと思う。

要望2) 新しく幌向に入ってくる現役世代が増えた時期があった。アンケート調査をしたら、一番大きな回答は、地価が安いという理由。さらには札幌に通勤しやすいから、学校が近くにあるからという理由が大多数であった。やはり札幌に近い、安い土地・空地もある、小学校中学校もある、その利便性を活かした施策を議会で発言いただきたい。また、栗沢・北村と比べ公共施設が少ないので、そういったことも改善いただきたいと思う。

要望3) 札幌からの移住で問題となるのは冬の除雪。もう少し除雪に対して支援をしていただくことで、人口減少対策にもなるのでは。岩見沢の人口も7万人程度まで減少している。人口減少対策はあまり話題になっていないが、しっかりやっていただきたい。

要望4) 岩見沢市で施策を進める上で、そんなことはないかと思いますが、幌向はどちらかという後回しになっているのではないかと懸念している。今はDXなどをうまく活用して、この地域ならではの取組を進めていかなければならないと思う。また、除排雪についても、私たちが一番苦労しているのは、置き雪の問題。もう1回か2回走ってくれば、我々が処理する量はかなり減ると思う。公費で始末できなかった雪を、町内会の自主排雪、私費で負担するのもどうかと思う。ホームページではできない理由を上手く、やらない理由を上手に述べているように見える。この町を大事にしていきたい。

要望5) 排雪に使用するトラックに対する補助。これを実現していただきたい。全額とは言わずとも一部補助だけでも前向きに検討いただきたい。



地域会場 ②栗沢支所

Q1) 義務教育学校で多くの人と長く過ごすことで、言葉遣いがどのように変化していくのか。

A1) 言葉遣いに関しては今のままでいいのではないかと考えております。

Q2) 9年間の友達ができてしまうと、高校入学時、知らない人とのコミュニケーションがより難しくなるのではないかと。

A2) 9年間の顔ぶれが固定化されてしまうので、そういう心配はあると思います。それも課題の1つであると認識しています。ですので、9年間で様々な地域交流であったり、外部交流をはじめ、心身の成長を促すサポートや工夫が必要と考えています。

Q3) 小中一貫といわれている中で、校舎がいつ建つのか、どの辺に建つのか。どこに建つかによって、小学生が児童館遠くなったりする。安全性の確保はどうなるのか。

A3) 校舎の建設、ここがまだしっかりクリアになっていないところがありまして、地域の方を含めて色々な意見をいただきながら、これから始まっていくことだと思っております。建設場所によって、色々な動線が変わってくるということもしっかりと認識しております。

Q4) 新校舎。新築なのか改築なのかというところ、情報がなければ、ないとはっきりと市民に提示していただけないと、保護者の中でも不明瞭な噂話があって、不安になるところもあるので、情報を発信していただきたい。

A4) 情報発信を明確にするというのは重要であり、しっかり発信をさせていただきます。

Q5) 中学校の教員の方が小学校に出向いて授業を行ったり、子供たちが学校を行き来しての授業がある中、休み時間で移動という状況で、非効率な状態になっている。いち早く新しい1つの校舎に、少しでも早く実現してもらいたいので市の方に要請を。

A5) 新しい校舎についてもしっかりと拝聴いたしました。

Q6) 小中一貫校では部活動の練習スペースはどうか。

A6) 建つ場所が明確になってから検討していくべきものと思っております。

Q7) 今道内で何校か義務教育学校ができています。そういったところの子供たちの意見やPTAの声も含め、学校の運営方法や先生の動き、子供たちの動き。行政には、こういうところも確認してもらって、栗沢どうでしょうかと意見を提示してもらわないと、子どもたちや地域も困ってしまう部分がある。はっきりと業務発信をしっかりといただきたい。

A7) 様々な義務教育学校、参考にできることは多々あると思いますので、情報発信を含めて適宜やっていきたいと思えます。

Q8) 制服とか卒業式の基準はどうなっていくのでしょうか。

A8) 今後協議をされていくかと思いますが、7年生から制服を着用して、6年生までは私服という学校もあると聞いています。卒業式は、義務教育学校になれば、9年生を対象に卒業証書授与式が行われるかと思えます。6年生というのは前期課程の修了という位置づけになるかと思えますので、修了証書授与式という形を設けている学校もあるようです。子どもたちの達成感や、充実感を大切に、色々な取組を工夫していかなければならないと感じています。

Q9) 既存の校舎を利用した中で義務教育学校をスタートするという案は議会の中で話し合われているのか。

A9) 市議会では議論はしていない状況でございます。

Q10) 9年生になったときに卒業アルバムをどの学年から対象とするのか。1年生からだと写真が多くなりすぎないか。6年生の時に作成するなどはどうか。

A10) おっしゃる通りだと思います。そういった発想やアイデアは盛り込まれるべきだと思いますので、発信し続けていただければと思います。

Q11) 部活動が少年団になったときに、スクールバスに乗せてもらいたい。

A11) 岩見沢市としては、子供たちが文化や芸術、スポーツにどうやって親しむことができるかということを最優先に考えるという方向性はずれていないと思います。拠点校方式の部活動も議論はされていますが、そうすると子供たちが移動しなきゃならない、色々なことをシミュレートしながら、あるべき姿を、時間をかけながら探っていく段階であります。いずれにしてもそういう要望があるのは間違いないので、何とか子供たちにとっても保護者にとってもいい環境を作れるように努めていきたいと思っています。

Q12) 地域の特色を生かした、子供たちが胸を張って、故郷は岩見沢市といえるような人づくり、教育、環境を整備していただきたい。

A12) 学校方針の中に、地域開放であったり、地域性の取組というのが大きく入っているのが、最近の義務教育学校の中心でありますので、今いただいたご意見も参考にさせていただきたいと思います。

Q13) 立派な校舎があっても、ぼやぼやしていると入学する子供たちが少ないということが起きてしまう。少しでも早く計画と、議会での承認、予算もとっていただきたい。

A13) 岩見沢市の合計特殊出生率が去年は0.99と非常に危機的な数字になっています。非常に厳しい状況であることは間違いないと、我々もそうですし、皆さんと共有していかなければと思います。

Q14) スマート農業の導入に関する補助金の制度はあるのか、また、なければ今後検討していただきたい。

A14) 平成28年～令和元年までの4年間にわたって、自動操舵並びにGPS導入する際の補助金制度があったと認識しています。現段階では市の補助金制度はないと思います。それ以外だと、国の強い農業支援事業やICT機械導入事業を活用していただくのが現状かと思っています。

Q15) 農地への不法投棄が多発して、排水を詰まらせて水没してしまうこともある。現在、町内会などで対応しているが、対応にも限界があり、対策と事後の対応を検討いただきたい。

A15) 不法投棄に関して、市では市民環境部が対応しますが、不法投棄多発する場所での立て看板の設置であったり、不法投棄そのものに対するご相談も承っておりますので、まずはこの市民環境部にご連絡ご相談いただければと思います。

Q16) 岩見沢市農業気象サービスのサービス開始から現在までの利用者の推移、利用者からの評価を教えてください。評価が低いのであれば、大手ウェザーニュースと連携している企業もあると聞いたので岩見沢市でも検討していただけないのか。

A16) 運用主体がJAのため、今後の話は岩見沢市もちろん、JAも含めた両者の協議となると思います。利用者は、平成25年当初は71件、令和4年では77件となっています。

Q17) 出荷先の基準を満たさずに売れなくなってしまった規格外品を中心に販売したり、慈善団体に寄付する取組を市でも検討いただけないか。

A17) 農業の6次化、これを進めるべく補助金制度というのは岩見沢市の農産物付加価値向上支援事業が当てはまってくるのかと思います。上限200万円で、20万円以上の事業に、その事業費の2分の1が補助される事業となっています。

Q18) 規格外の野菜を学校給食に回すことはできないか。

A18) そういった流れを今一度しっかりと確認したいと思います。

Q19) 由良地域で水圧が低く、風呂の水200Lを貯めようと思ったら1時間程度かかるところがある。うまく水圧の操作をできるように、今、住んでいる方に対して補助を考えていただけないか。

A19) 行政でバックアップ、サポートというのがすぐにできるかという、一概にここで前向きにとは言えませんが、そうことがあるということ把握させてもらいましたので、色々と検討しながら方向性を探してみたいなと思います。

Q20) 議会改革は当然特別委員会などで進められていると思いますが、我々住民は、議会がどういう方向に進んでいるのか、どういう課題を踏まえてどうしようとしているのか、全く聞こえてこない。特に議員のなり手がいないという背景もある。議員報酬、全国平均いくらなのか、道内平均いくらなのか、岩見沢市議会議員の数字が分かれば教えてほしい。

A20) 議員報酬に関しては、岩見沢はあらゆる部分において平均であり、毎月の議員報酬としては、額面として38万4000円。これに期末手当。我々の場合は政務活動費というのが月に1万円、会派に入ります。

Q21) 市民との意見交換会ですから、議会改革を岩見沢市議会としてどういう方向に進めようとしているのか、これを議題として挙げて、市議会としてこういう方向に進みたいのですが、皆さんはどうお考えですかというようなものが本当の対話ではないか。

A21) 現段階では、一問一答方式や議会基本条例などは、検証中となっています。ある程度判断ができた段階で、次の議会改革に向けて、市民の皆様と対話をさせていただくことになるかと思います。

Q22) 栗沢の町は、商店街ではなく、シャッター街となってしまっている。地域住民は、このままでは「だめだ」という意見が圧倒的に多い。栗沢に対して議員のご意見をお伺いしたい。

A22) どこの町でもなんとかしたいと思いながら、できていないという現実があるということをご理解いただきたいと思います。ただ我々もそれをあきらめずに、持続可能にしていかなければならない、子供たちも自分たちの地域に誇りと愛着をしっかりと持ってもらいたいというのは万人の願いでありますので、議会としてもしっかりと努力していきたいと思えます。

今回の意見交換会においても、栗沢はこれだけたくさんの方に足をお運びいただき、忌憚なく意見を出していただきました。これは栗沢の良さであり、これからの可能性でもあると思っております。本日のテーマでもある義務教育学校、この新しい学校が地域の活性化の起点となるようなものになるべく、志と理想を忘れずにしっかりと邁進していきたいと思えます。

これから地域をどう生かしていくかというのは、行政の力も必要だけど、地域の皆様の力も合わせてやっていかなければ出来上がらないと思っています。そういったことを手助けできるのが市議会ではないかと思います。皆様の意見をいただいて、それをいい方向に結び付けて地域を大事にするということが重要だと思います。行政と地域の力をマッチングさせる、そういったことに汗を流す市議会でありたいと思います。

子供たちが将来、岩見沢に戻って仕事がしたい、岩見沢に住んでいてよかったという自信を持てる、まちづくり。これから私たちのやるべきことなのかなと思っています。

要望1) 小学校と中学校の間に灌漑構があるので、きちんと安全対策を。

要望2) 車がないと生活ができない。免許返納に対して、苦しみあっている状況。議会で検討いただきたい。



地域会場 ③北村支所

Q1) 自治会館の用途廃止について納得できない部分もある。新しい会館なども対象となるのか。

A1) あくまで地元の意向を汲んで、今後の配置計画を考えていきたいというのが市の考えであります。強制的に進めるというものではありません。また、中央会館と豊里会館は、建物の保証金は一般会計に歳入として入っております、新たに過疎債で建物が建てられた経過があります。

Q2) 新しい会館は、何年間かは廃止や解体はできないのではないかと。

A2) 建てたばかりのため、違う方向で用途を考えるなど、色々なことが考えられるのではないかと思います。岩見沢市内でも、地元と協議をして用途廃止としているところもあり、あくまで地元との協議の中で検討しているということです。

Q3) 会館に対して市からの助成金が廃止ということは何年か前から聞いている。地域住民だけで維持できるものでもないから、各地区の会長さんは困ったというのは聞いている。

A3) 一般質問や委員会質問において、適正配置については都度、質問させていただいています。その中で、今後5年間の中で1度話を進めていきたいと答弁がありました。用途廃止をして地元が受けるのか、それとも解体するのかというところで地元と協議をしていると聞いています。ただ、地元丁寧に説明してほしいとお願いをしているが、丁寧ではないというような話も聞いているので、きちんと地元の声を聞いてもらいたいと訴えていきます。

Q4) 昔、一方的にそういう話も聞いているから。あんまりにも横柄かなと。

A4) 特定の地域では用途廃止もやむなしとして、市が撤去費用を出してくれるなら撤去してほしいという意向を持っている地域があることも事実でございます。自治会の利用頻度が少なくなっている中で、検討の1つの項目になっているのが、老人クラブの月1回の例会がある自治会は、地元のコミュニティ活動の拠点として必要。老人会が地域コミュニティを守っている組織ですから、その組織が町会で活動しないと、議論の争点となってくると思います。

Q5) 東地区の自治会館をどうするか悩んでいる。ぱるの浄化槽は、年間百数十万の維持経費がかかってくる。それだけで地域住民では維持できない。利用頻度も一定程度あり、また一番考え深いのは消防団。東地区は水害が多く、会館には30人近く消防団員が待機することもあり、そういう規模のものを建てるのか、ほかの建物を増築するのか、悩んでいる。

A5) 隣接するぱるがすでに用途廃止で、市としては撤去し、更地にすると聞いています。浄化槽の関係は隣接しているものをそのまま使うだけではなく、もっと地元に向合うようにするのか、用途廃止を受けるか受けないかも、これから考えなければいけないと思いますが、市と計画的に協議をしていただきたいと思います。

Q6) 市は施設の床面積を30%削減すると。その根拠は。

A6) 国からの平準的な指標です。人口当たりの公共施設の面積は、北村地域は岩見沢の3倍、栗沢の2倍になっています。「合併しました、岩見沢の3倍あるし、必要じゃないでしょ」と言われても、そうはならないかと思っている。何1つなくなるとは困る施設ばかりですから、北村代表する議員として訴えていく必要があると思っています。

Q7) 地区会館の廃止などで、緊急時の避難場所はどうなるのか。そういった面もしっかりと地元と協議をして進めていただきたい。

A7) 地域の拠点をなくしてしまった後の計画はまだないので、いただいた意見は非常に重要です。次につなげていきたいと思っています。

Q8) デマンド型乗合タクシーとは。

A8) 予約型のタクシー形態です。通常のタクシーでは自宅から目的地となりますが、デマンド型乗合タクシーは、例えば北村支所から病院までなど決められた経路を決められた料金で利用できる交通形態となります。

Q9 北村は今後デマンド型タクシーが中心に変わっていくのか。

A9 交通弱者に対して、バスでは時刻表がしっかりと決まっているが、デマンド型乗合タクシーでは、自分の診療時間に合わせて、病院に行くこともできます。ですが、病院に行った帰りに買い物に寄るということはできない制約があるものになります。国鉄バスの廃止になって、代替交通機関がない地域に対して、足の確保をする政策であると認識しています。このテーマをなぜ提案したかというところ、これから10年、20年したら車の運転免許を持っている方がどれくらいいるのか。車を運転できなくなると、北村では非常に住みづらくなってしまいます。そういう中で、地域公共交通が重要になってくる。今までとは異なる小さなマイクロバスなどが頻繁に走ることで、免許を返納した方も住みやすい北村になるのではないかとこのところ、市議会も勉強をしているところで、地域の皆様の意向もお伺いしながら、前向きに対応できるところは行政に訴えてきたいということがねらいであります。

Q10) 混乗バスの乗車率が低く、もったいないなど。

A10) 地域の利便性を図るため運行しているものです。朝夕は子供たちのスクールバスとしても運行しています。

Q11) デマンド型タクシーは、なぜ豊正地区まで普及しないのか。

A11) 豊正地区は、中央バスの定期路線バスが運行しているため、走っていない状況です。

Q12) 豊正地区は、中央バスが走っているがゆえに、利便性の高いまっすぐ岩見沢まで行けるデマンド型タクシーは利用できず、あくまでも北村のバス停で乗り換えてということなのか。

A12) 現時点ではそうなります。今後については、いただいた意見を基に、議会で検討しながら、行政と協議をしていきたいと思っております。

Q13) できれば、せめて病院までは1本で行ける交通を考えていただきたい。

A13) 今後検討させていただきます。

Q14) スクールバスの車両が大きすぎるのでは。児童生徒も減っているので、更新する際には、小回りが利く車両でも良いのでは。

A14) 先進地視察でも公共交通機関は重要だと考えて、色々と視察に行っています。おっしゃられたようにサイズの小さいものがコミュニティバスとして運行しているところもありました。バスの更新時期もありますが、行政と協議を進めていきたいと思います。

要望1) 水害が起きてからの避難場所となる会館や施設がまったくない。あくまで災害が起きる前の集合場所という考え方になっている。避難場所については、そういった点も含めて検討していただきたい。

要望2) 農繁期の時期は北村から病院までのバスを運行していただけると。90歳の親の通院には必要となるので、検討いただきたい。

要望3) 今年、歩道の雑草が多かった。景観が悪くなるため、対応をお願いしたい。バス停など、子供たちが待つところもかわいそうな状態であった。



メイン会場 ④生涯学習センターいわなび【テーブル1】

新病院に期待すること

- 最新技術でつらくない治療を期待します
- 岩見沢市役所のようなわかりやすく親しみやすいデザイン・設計
- 札幌までいなくても岩見沢ですべての病気が治ってほしい
- 市民が安心して治療できる病院
- 最新技術でがん等、早期発見できるようになってほしい
- 救急体制の充実
- 車がなくても長く歩かないで病院に着く
- 車じゃなくても行きやすいインフラ
- 迅速な診察
- すべての科目がととのっている
- 地域医療との連携、各病院、医院との連携による医療体制
- スタバが入ること（憩いの場）
- 周りに市民が集える公園
- 岩見沢のシンボルとしての魅力

新病院への不安・心配事

- 予算は大丈夫か
- 持続可能な経営ができるか？
- 患者が少なくなっても維持できるのだろうか
- 空知全域で患者が来るのでお医者さんの数は足りるのか
- 岩見沢で働く人員どう集める？
- 病院を統合することで業務上混乱はしないか？
- 患者が増えて待ち時間長くなりそう
- 4条通りが渋滞しない？交通インフラ

- 市内からの交通アクセスの確保できるのか？
- バス（公共交通機関）の本数やアクセスは大丈夫？



メイン会場 ④生涯学習センターいわなび【テーブル2】

新病院に期待すること

新しい医療体制システム

- 最新医療の提供
- 高度な検査の体制
- 先進医療というどうしても西洋医学に偏りがちだと思いますが、東洋医学や代替医療への取組も期待しています。
- 救急医療体制
- 安心して療養できる病室と対応
- 待ち時間がない

連携

- 医療上における他病院との連携
- さらに大きな病院との連携体制

意見反映

- プラン通り10年度での開院
- 昨年9月～パブリックコメントの資料の1番のご意見に同感、共感しています。医療行政のビジョンをとということだと思います。

新病院への不安・心配事

アクセス

- 交通アクセスの利便性
- 病院と交通アクセス時の天候上の通路確保
- パブリックコメントの中にも多数あがっている、アクセス、交通の利便性の詳細
- 院外薬局とのアクセス

人材

- 診療科目の増加が大金計画になっていますが人員の確保は可能でしょうか

- 医師の（人材の）確保
- ハード面の充実は当然ですが、ソフト面の改善をどう進めるのか。
- 今回のような新病院に係る防疫上の課題、病院職員の安全確保、過労対策

連携

- 市内の医療施設との関係性の構築が重要事項だと思いますがどのように進めるか
- 救急ヘリは？
- 3割程度の個室化ということですが少ないのではないかと思います。

場所

- 跡地の利活用
- 高台にあるので老人には大変そう

予算

- 建設費の増大と市民負担の増大
- 予算がふくらまないか



メイン会場 ④生涯学習センターいわなび【テーブル3】

新病院に期待すること

- 対応技術の高さ
- 健診センターの高度化
- 少しでも安心して産める産科になるといいです
- 駐車場を広く
- 小規模医療機関（診療所）との連携
- 働きやすい職場であると良い、市立勤務のママ友らから不満を聞くこともあるので
- 職員、働く人の対応が良くなること
- 診察時間を短くしてほしい（長くて1時間）
- 地域の声、産婦人科の充実
- スピード感、全て

新病院への不安・心配事

- 2つの病院のスタッフさんが一緒になってうまくやっていけるものなのか、体制とかお金とか
- 行政が建設に当たって、市民の声を聞くことができるのでしょうか
- 医師不足にならないか不安です
- そもそも本当に高齢者の方があの場所に行けるのか？（車以外で行けるか？）
- 新病院に若い世代の人が行くのかどうか？
- 赤字ではよくないですが医療機器を更新しないで黒字化するのも困る
- 引越し期間の医療対応は？



メイン会場 ④生涯学習センターいわなび【テーブル4】

新病院に期待すること

- ・新しい人流に沿ったまちづくり（商店、新しいお店）
- ・口腔外科が機能するようお願いしたい
- ・12号線へ出る時、美唄方面へ右折できるよう願う
- ・岩見沢には産婦人科が少なすぎる
- ・益々の小児科の充実
- ・人口増加のため安心して子育てするための産婦人科、小児科

新病院への不安・心配事

- ・より良い交通機関の充実化
- ・診療科が将来維持できるか
- ・連携室を通すのが面倒な
- ・医師等確保できるのか
- ・病床はへらしすぎ？
- ・他市町の病院も新築するけど患者はくるの？
- ・人口減少、人手不足について長期的な視点で



メイン会場 ④生涯学習センターいわなび【テーブル5】

新病院に期待すること

- 感染症対策
- 子供への医療の充実
- 水準の高い医療、スタッフの確保
- 地域医療の最先端の医療が受けられる
- 高齢者にとってやさしい医療行政になるだろうか
- 緩和ケア病棟のイメージが想像できない
- 病床のバランスはどこか参考にした病院があるのか
- 地域医療の中核となるイメージ、市民に明らかに
- 患者の意見を受け入れる体制（受け身の患者、あきらめている患者が多い）
- 外来で待つ時間を少なくするようなシステムを願う
- 待ち時間の短縮化
- 医療従事者の労働条件を保障
- 若いスタッフが子育てをしながら働き続けられる労働環境

新病院への不安・心配事

- 立地が遠い
- シャトルバスの運行ありか、交通が不安
- 病床少なすぎないか
- 最終的な事業費の大幅な増額
- 資材が高騰する中で、今の予算と今後の費用がミスマッチにならないか
- 経営大丈夫？
- 「医療相談室」など、不安にこたえるものはあるか（患者の）



メイン会場 ④生涯学習センターいわなび【テーブル6】

新病院に期待すること

- わかりやすい構造、今はわかりにくい
- 受診のしやすさ
- 診察外来受付が午前中に限られている現在ですが、午後も外来受付をしてくれる病院であってほしいです
- 空知周辺の雇用の充実
- 救急外来
- 公共交通の更なる充実
- 市内のどこにいても市立病院に行きやすい交通手段を考えていただきたい
- カフェがあると良いと思います
- オンライン診療
- 跡地の開発
- 南空知の中心となる病院、先進的な医療技術の確立
- わざわざ札幌までいかななくても良い専門的かつ高度な医療設備と技術
- 待ち時間の短時間化
- 待ち時間の短い病院
- 待ち時間の短縮
- 駐車場の駐車できる台数の拡大
- 女性外来の充実
- 地元住民はもとより近隣住民の利用が望める病院
- ドクターヘリを！
- グッドデザイン賞
- NHK「病院ラジオ」が来るような病院に
- 予防医療を指導し、無駄な混雑を軽減する
- 予防医学を

- 医師の男女比を50：50で
- 地域医療の充実

新病院への不安・心配事

- 近隣自治体からの流入による市民サービスの低下
- 待ち時間が長くないか（2つの病院を1つになることで患者が増え）
- 待ち時間が長くなる？
- 労災勤務者と市立病院勤務者との確執は大丈夫か
- 北海道中央労災病院の既存施設の有効活用（まだ耐用可）
- ドクターヘリの発着場所は？
- 事業経過の見える化
- 344億円で出来るのか？
- 事業費が大丈夫か
- 災害に強い施設のコストの増加
- 建設費が高く将来それをどう補っていくのか心配です
- 太陽光パネルを敷き詰めるような安易な防災をしないでほしい
- 建設や備品購入について市内の事業者を最優先に
- 現在建設中の市立美唄病院のように（シンプルイズベスト）
- シャトルバスが必要ではないか（駅からの）
- 交通（バス等）
- 交通手段
- 新しい新病院に行くのに、特に西部に住む人はタクシーでなければ行けないとすると、年金生活者としては厳しい
- 交通の便、公共交通との混雑
- 食堂や購買などで市内からの調達が可能なのか
- 患者の確保は大丈夫か？人口減少時代に向けて
- 外来用食堂や職員用食堂の誘致

- 医師の確保
- 市内看護学院との連携の薄弱
- 専門医の確保大丈夫か
- 職員への職務倫理教育の徹底
- 医師や看護師の確保の危機的な事由の対処は？
- 医療従事者の確保について
- これだけ大きな病院に医者はじめスタッフをそろえられるのか心配



メイン会場 ④生涯学習センターいわなび【テーブル7】

新病院に期待すること

施設の充実

- 保育所の設置
- 駐車場の拡大
- キッズスペースの充実
- 受付してから診察時間の短縮
- 駅前から病院までの交通アクセス
- 図書館、ビデオルームの整備、大浴場の整備

雇用の充実

- 市民の雇用の充実
- 建設に当たっては地域経済の活性化、雇用の維持、確保等を図るため、最大限地元業者が参画できるよう特段の配慮をお願いしたい
- 雇用創出（住民を増やす）
- 職員が働きやすい環境づくり
- 働くことによる喜びを持てる職員

質の高い医療

- 質の高い医療
- 札幌に行かずに地元で高度な医療が受けられる
- 医療機械の充実
- 質の高いドクターが揃う病院
- 病床の増加

新病院への不安・心配事

物価高騰、人材不足

- 多額な工事費用が予定される中で、収支のバランスが維持できるのか懸念される

- 事業費の拡大
- 病院の維持管理費の市民負担
- 令和10年開院が間に合うのか、人材不足、物価高騰による影響があるのでは
- 事業費増加
- 10年には開院できるのか

施設について

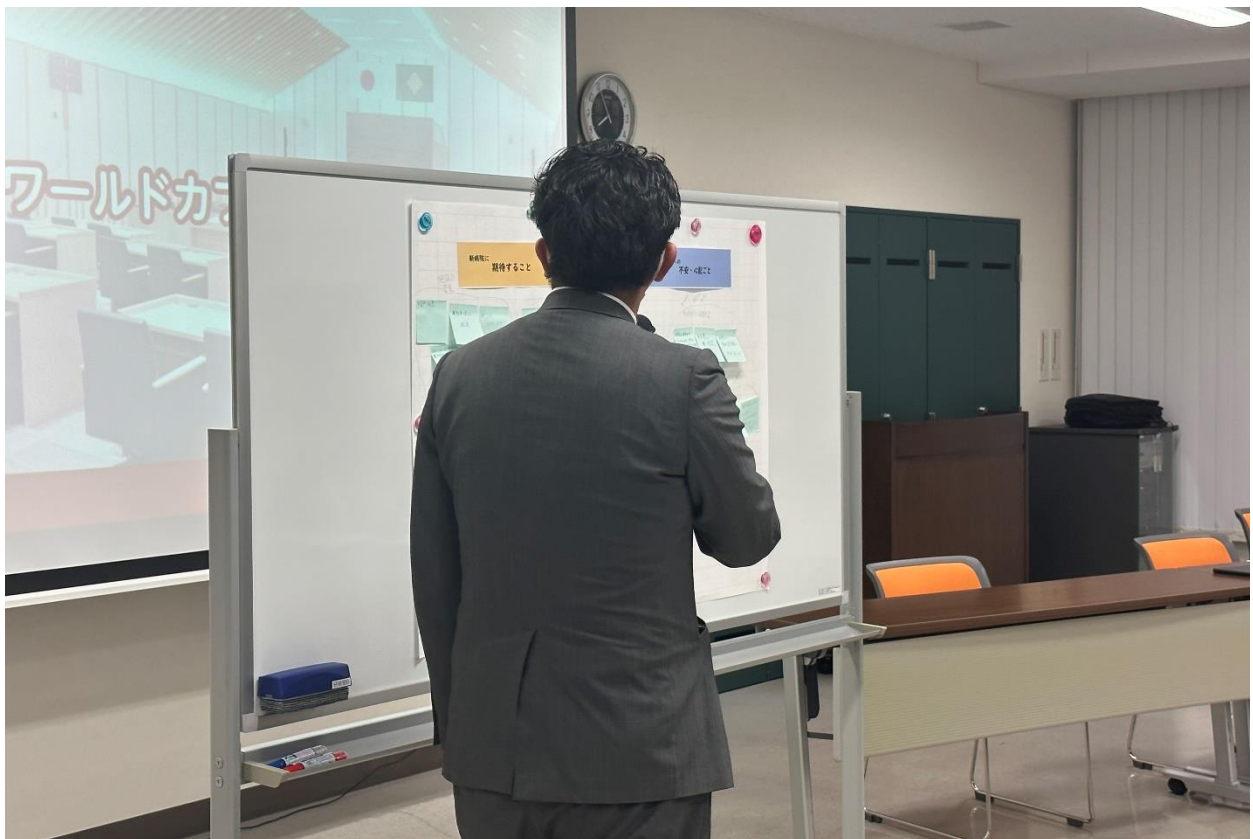
- 感染症病床4床、少なすぎないの
- 今後の人口減が予想される中で、空きスペースの活用対策は考慮しているのか？

交通手段

- お年寄りの交通手段
- 幌向、栗沢、北村地区などバスの乗り換えが必要な所に対する対応

その他

- 近隣の中小医院の質の維持
- 職員確保



メイン会場 ④生涯学習センターいわなび【オンラインテーブル】

新病院に期待すること

- レストラン、カフェ、緑地、お母さんが安心して過ごせる場所
- 病院行く人の気持ちのケア、コミュニティペース導線づくり？
- アクセス、駐車場を広く
- 困ったら頼れる場所
- 救急センター機能を病院の機能に加えられるか？
- 利用者の率直な意見を聞くべき
- 待ち時間の短縮
- 機能分化
- 空調設備
- ハード面の心配はない
- 災害時の医療体制の資料公開
- 当事者同士のコミュニティ充実
- カウンセリング機能充実
- 岩見沢市立病院の売りをつくる
- 看護師という仕事を大事にしている病院、保育機能あるとか
- バスの乗入れ

新病院への不安・心配事

- 乗り控え、車を使わないアクセスが不便
- 公共交通機関のフォロー
- 交通アクセス遠くなる
- 無料循環バス
- 採算とってほしい
- 患者さんへの接し方



5. アンケート集計結果

●実施日 令和5年11月20日（月）

●会場・来場者数・アンケート回答者数

会場	来場者数	回答者数
① 幌向総合コミュニティセンターほっとかん	12名	10名（83.3%）
② 栗沢支所	27名	23名（85.1%）
③ 北村支所	23名	23名（100.0%）
④ 生涯学習センターいわなび	30名	27名（90.0%）
計	92名	83名（88.0%）

■今回の市民との意見交換会について■

Q1 皆さまについてお聞かせください。

年齢（参考：アンケート回答者83人の平均年齢 55.6歳）

答え	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
① 幌向会場			1			2	7		
② 栗沢会場	2		4	8	4	1	3		1
③ 北村会場		1		6	3	6	5		2
④ メイン会場			2	7	6	5	5	1	1
計	2	1	7	21	13	14	20	1	4

性別 A 男性 B 女性

答え	A	B	無回答
① 幌向会場	9	1	
② 栗沢会場	19	3	1
③ 北村会場	18	4	1
④ メイン会場	20	6	1
計	66	14	3

Q2 今回の開催について、どのようにお知りになりましたか。 ※複数回答あり

A 市議会ホームページ B 市議会だより C 市議会フェイスブック
D 意見交換会ポスター E 知人 F 新聞など G その他

答え	A	B	C	D	E	F	G	無回答
① 幌向会場	2	6		1		1	2	
② 栗沢会場		3		5	15		2	2
③ 北村会場	1	5		3	6		12	1
④ メイン会場	3	11	1	5	6	1	3	1
計	6	25	1	14	27	2	19	4

Q3 参加しようと思ったきっかけは。 ※複数回答あり

A 市議会に関心がある B 報告内容に興味がある C その他

答え	A	B	C	無回答
① 幌向会場	4	5	2	
② 栗沢会場	4	17	1	2
③ 北村会場	6	7	8	2
④ メイン会場	11	13	5	1
計	25	42	16	5

Q4 参加した感想についてお聞かせください。

今回のテーマ（議会の紹介・意見交換）について

A 良い B 普通 C 悪い D その他

答え	A	B	C	D	無回答
① 幌向会場	3	4	1		2
② 栗沢会場	11	9			3
③ 北村会場	6	13			4
④ メイン会場	18	7			2
計	38	33	1		11

日時の設定について

A 良い B 平日昼間が良い C 土日昼間が良い D その他

答え	A	B	C	D	無回答
① 幌向会場	5	2	1	1	1
② 栗沢会場	18		2		3
③ 北村会場	19	1	2		1
④ メイン会場	19	2	4	1	1
計	61	5	9	2	6

会場の設定について

A 良い B 悪い C その他

答え	A	B	C	無回答
① 幌向会場	9			1
② 栗沢会場	20		1	2
③ 北村会場	21		1	1
④ メイン会場	26			1
計	76		2	5

今後の開催について

A 必要 B 必要ない C わからない

答え	A	B	C	無回答
① 幌向会場	9			1
② 栗沢会場	18	1	2	2
③ 北村会場	15		5	3
④ メイン会場	23	1	1	2
計	65	2	8	8

Q5 今後の意見交換会について、どのようなテーマであれば参加したいと思いますか？
その他、今回の意見交換会でお気づきの点等ありましたらご記入ください。

◆幌向会場

- 地域の交通網について。
- 参加者が沢山来てくれるように検討してください。
- 今回の意見交換会で出た歩道橋の雨漏りの件は進捗を幌向の人に知らせて欲しい。時間が1時間では少ないと思いました。2時間は必要では。
- テーマが事前にわかっていたら良かった。議会とのつながりを考えるのに良い機会と思った。
- アリバイ作りにしか聞こえない。
- 次回は交通の問題について。

◆栗沢会場

- 交通体系、まちづくり。
- 難しくないテーマ。子供たちの安心安全に沿ったテーマ。
- 小中一貫校の今後の方向性と具体的な内容等。
- 小中一貫校の具体的な実施計画について。
- 小学生には言葉が難しく、発言しにくかったかな。
- 基本の方向性が決まってからでないとし、市議会も答えを言えないし、質問ではなく要望ばかりの意見交換会では何も前に進まないと思います。
- 議会改革。
- パンフレットなどでは知ることができない内容。

◆北村会場

- 特に車を持たない方々の不便な生活環境の中で、今後（将来）の北村への期待や不安など現在の住民の実際の声が聞ける機会があれば、また参加したいです。
- テーマは決めなくてもいいと思う。何でも受け止めてくれれば。
- ICT 開発。
- 地域の課題をテーマに取り上げていただきたい。

- テーマは必要不可欠なものでした。どのくらいの視野の広さで語り合うのかを先に示さずに自由に話すととても局所的になり、求めているものとはちがうような感じになると思いました。
- 時間が少なく足りない。
- 市立病院の在り方。
- ◆メイン会場
- 物事が決まる前に意見を聞いてほしい。
- 教育（中学校、高校の今後の在り方）。
- 続けてほしいです。
- 時間が少ない。
- 岩見沢の人口増加に向けて。
- 今回、意見交換をして終わりではなく、市民の方々の主だった不安・期待に対してどのように今後の市議会で対応し、どのような結果となったのかまで、声を届けていただきたいと思います。
- 中心市街地の今後の在り方について。
- 今日の課題のその後が分かればより良いと思いました。
- 農政、除雪問題。
- マジック（ペン）があるとよい。
- 新高校設立について。
- 新病院建設をテーマに意見交換会を開催したということで終わらずに、今後の実務に活かしていただきたいと思います。

■岩見沢市議会について■

Q6 これまでに市議会（本会議・委員会など）を傍聴したことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	23	56		4

Q7 これまでに市議会だよりを読んだことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	74	5	1	3

Q8 市議会ポスターを見たことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	42	34	1	6

Q9 市議会フェイスブックを見たことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	17	61		5

Q10 本会議のインターネット中継（市議会 YouTube チャンネル）を見たことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	16	62	1	4

Q11 その他、岩見沢市議会へのご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

- ・前回市議会との意見交換会に参加したが、地域の細部の話になり、意見交換会の趣旨に合致したか不明。今回の意見交換会も同様に趣旨に合致した内容だったか不明。将来に向けた話、意見交換会になるよう趣旨の検討をお願いします。市議さんの将来に対する思いを聞きたいです。
- ・議会が身近になる機会をどしどしやっていただきたい。1時間は短いのでもう少し。
- ・駅北側の照明が暗いです。日が短くなり、雨が降っている日は駅裏で送迎の車が5~10台ぐらい並び、その間から人が出てきてもわからないことがあります。照度は満たされているといわれていますが、今時期11月の雨の日の夕暮れ、通勤通学時の人の動きを確認してほしいです。LEDになったら、もっと明るくなり歩行する人が見えやすいのではと思います。「道の駅」をぜひ実現できるようにしてほしい。三笠から当別間で道の駅がないので。
- ・終了時間ありきの感じで嫌な（失礼な）雰囲気だった。
- ・敬老会の日に臨時バスを出せばいいのにと考えた。自治会でバスを用意している所もあった。足さえあれば行くということもあるのではないかと。目と鼻の先の北村支所からいいバス出ているのにとこの思い。
- ・市民に寄り添った市政を。
- ・災害があったとき、トイレが必要だと聞きました。トイレの設置が出来るまでの期間、簡易トイレを配ってほしい。水も食べ物も必要ですが、それに合わせて配ってほしいです。
- ・0~2歳児の保育料の無償化。保育園に入れるために働くんじゃなくて生活するために働いているので、給料の半分以上、保育料で取られてしまうのはつらい。
- ・通学路の安全確保（栗沢病院の塀が崩れたらケガする）。大雪対策もお願いします。
- ・小児科の増院。耳鼻科も。待ち時間が長いと高熱で苦しんでいてもすぐに見てもらえないのがかわいそう。

- 学校給食についての要望。給食の嗜好調査の実施（年1回、年度末ではなく中間期で）嗜好調査は給食センターが建ってから1年後のみ実施され、市のホームページに公表されている。内容の充実や現場で働いている方への感謝を伝える場として喫食者のみではなく、保護者へも任意で給食アンケートを実施してほしい。給食残食率の公表。小中学校でもSDGsを勉強、実施されているので、残食率を公表することにより子供達への意識づけができ、残飯が減少するのでは？
- 市民サービス。タクシー会社がなくなったのでお願いしにくくなったそうです。タクシー助成などのサービスがわからないようです（町の先輩から相談を受けました）。学校から地域を作っていきたいと思っている。地域の先輩たちとの交流が沢山できてきたので、地域活性のための補助がほしい（若者と先輩たちとの）。祭り。農業祭は地域の人との交流の場。伝承の場になり、地域が続くための大切な行事である。市からの補助がなければ運営は難しくなるので、予算を減らさないでほしい。
- 町会単位で出している要望を順次解決してほしい。小中学校の話、商店街の話が出ていました。将来子供たちが帰ってこれるまちづくりとして、子供の将来なりたい職業のお店をつくる。
- 子供たちのため支援よろしくお願いします。
- 傍聴者が少ない。市民も議会に関心を持つようになれば良いですね。
- 社会人が傍聴できるよう年間で1日でも夜間議会を開催してみてもは。
- もっと各種課題に対する各議員の考え方を知る場があってもよいのでは。
- 自己紹介があれば同じテーブルの人を知ることができ、より活発になったかと。
- 大変だと思いますがよろしくお願いします。
- 伝統芸能を見ている感覚でした（本会議の傍聴）もう少し簡素化できないでしょうか。
- 議員の皆さんが日常的にどのような仕事をされているのか、しっかりアウトプットしていただきたいと思います。例えば、公務として公費をつかっておられる研修・視察等について報告書を自由に拝見できるようにするなど。

■市民の皆様のご意見・ご要望について■

この度は、意見交換会にご来場いただき、誠にありがとうございました。お忙しいところ、貴重なお時間を割いていただき、感謝申し上げます。

皆様からいただいた多くのご意見・ご要望については、大変貴重なものであり、今後の議員活動において、参考とさせていただきます。

引き続き、皆様のご意見・ご要望を踏まえ、市民生活の向上のために、議員一丸となって、全力で取り組む所存であります。皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

6. 最後に

岩見沢市議会広報広聴事業
岩見沢市議会議員と市民との意見交換会を終えて

岩見沢市議会では市民に開かれた議会を目指して、平成26年度に各常任委員会で行った他都市調査報告会を初開催し、その検証結果を踏まえ、平成28年度からはより意見交換の要素を強くして開催をいたしました。

令和元年度から令和3年度までは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、市民の皆様と対面での実施ができませんでした。また、令和4年度は、感染拡大防止の観点及び新議場をはじめとした新しい議会設備を御覧いただきたいとの思いから、市役所1か所での開催とさせていただきます。

今年度は、5年ぶりに地域に出向いて開催をさせていただき、多様な御意見・御要望をいただけたことに、感謝を申し上げます。また、新たな試みとして、グループワーク形式での意見交換もさせていただきました。今後の議会としての活動に向けて、大きな意義を持つものとなりました。誠にありがとうございました。

今後も市民に信頼される議会、より身近な議会の実現に向けて努力し、二元代表制の下、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨して、岩見沢市政の発展に寄与できるように務めてまいります。

御協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

岩見沢市議会議長
峯 泰 教